

# 平成30年度決算のあらまし

平成30年度の伯耆町一般会計及び特別会計の決算状況をお知らせします。

## 一般会計

平成30年度の伯耆町一般会計決算は、前年度決算額に対して、歳入では10億9,266万円、歳出では10億7,213万円の増額となりました。

平成30年度は、溝口保育所長寿命化改修、ふたば保育所増設改修、こしき保育所園庭拡張、乳児家庭保育支援などによる子育て環境の整備、少人数学級実施によるきめ細やかな学習指導体制の整備、学校給食費補助による子育て家庭への経済的支援、アレルギー食対応のための給食センター改修、消防拠点施設となる消防団車庫の改築による消防力の拡充のほか、町道改良や上・下水道施設などインフラ整備を実施しました。

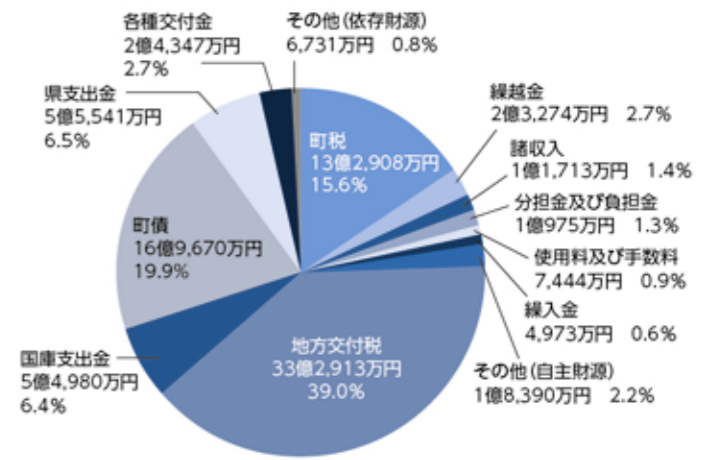
実施にあたっては、国庫補助金や各種助成金、ふるさと納税などを積極的に活用することで、健全な財政運営を実現させました。

本町の歳入の多くを占める地方交付税の減少など厳しい状況下ではありますが、基金の積立や交付税措置のある財政的に有利な地方債を活用することで、将来の財政負担の軽減に備えました。

### 歳入（収入）総額

**85億3,859万円**  
(平成29年度に比べ14.7%増)

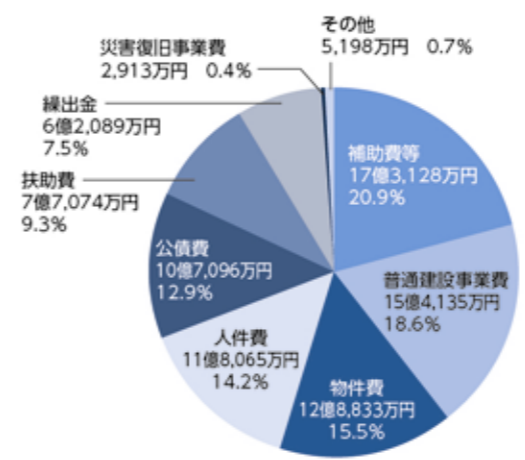
- 【主な特徴】
- 増えたもの
    - 財産収入：町有地（大山すこやか村）の売却などにより1億5,711万円増加。
    - 各種交付金：地方消費税交付金の増や国の制度変更を要因とする地方特例交付金の増により3,338万円増加。
    - 町債：役場庁舎改修、保育所長寿命化改修、給食センター改修などの普通建設事業の財源として9億6,160万円増加。
  - 減ったもの
    - 町税：固定資産の評価替えによる固定資産税の減少などにより6,973万円減少。
    - 寄附金：ふるさと納税の減少により35万円減少。



### 歳出（支出）総額

**82億8,531万円**  
(平成29年度に比べ14.9%増)

- 【主な特徴】
- 増えたもの
    - 物件費：地籍調査、道路台帳作成・更新、ワーキングコミュニティスペース(WCS)運営支援などの委託により6,300万円増加。
    - 補助費等：国庫支出金返還金や2か町クリーンセンター基幹改修に係る特別負担金などにより2億6,979万円増加。
    - 普通建設事業費：本庁舎大規模改修、保育所長寿命化改修、給食センター改修、消防団車庫移転などにより7億9,118万円増加。
    - 災害復旧費：平成30年7月豪雨、台風24号などの災害によって生じた被害復旧のため9,699万円増加。
    - 公債費：既借入れ分の元金償還開始や繰上償還の実施により7,599万円増加。
  - 減ったもの
    - 維持補修費：暖冬による除雪経費の減少により2,401万円減少。
    - 扶助費：臨時福祉給付金事業の終了、生活保護費の減少により4,282万円減少。
    - 積立金：農業集落排水事業推進基金積立金などの減少により1,180万円減少。



## 一般会計収支

区分	歳入額①	歳出額②	歳入歳出差引③ (①-②)	翌年度へ繰り越すべき財源④	実質収支⑤ (③-④)	単年度収支⑥ (ア)-(イ)
平成30年度(A)	85億3,859万円	82億8,531万円	2億5,328万円	2,589万円	(ア)2億2,739万円	1,127万円
平成29年度(B)	74億4,593万円	72億1,318万円	2億3,275万円	1,663万円	(イ)2億1,612万円	3,406万円
増減(A)-(B)	10億9,266万円	10億7,213万円	2,053万円	926万円	1,127万円	△2,279万円

## 目的別の支出額と主な事業

目的別	支出額	1人当り	主な事業
<b>総務費</b>	15億7,668万円	14.4万円	庁舎及び行政組織の維持管理に関する経費 戸籍に関する経費 選挙に関する経費 （主な事業） 庁舎改修事業（本庁舎大規模改修工事） 有線テレビ放送事業（ケーブルテレビネットワーク光化促進事業整備工事） 基金管理事業（伯耆町豊かなふるさと創造基金など） 廃止施設除却事業（旧日光公民館などの除却） 仕事と交流による生涯活躍のまちづくり事業(WCS) 県知事選挙費 県議会議員選挙費
<b>民生費</b>	23億5,955万円	21.6万円	高齢者、障害者福祉に関する経費 保育所運営、母子福祉などに関する経費 生活保護に関する経費 （主な事業） 障害者福祉費 保育所長寿命化・増設など（溝口保育所 ふたば保育所、こしき保育所） 生活保護費 乳児家庭保育支援事業 ゆうあいパル管理事業 介護保険事業費（広域連合負担金など） 後期高齢者医療費（広域連合負担金など）
<b>衛生費</b>	8億9,531万円	8.2万円	住民健康、予防接種、環境対策などに関する経費 ごみ処理などに関する経費 上水道の管理に関する経費 （主な事業） 基本健診、がん検診など 予防接種事業（法定、任意、インフルエンザ） ごみ処理関連事業 使用済み紙おむつ燃料化事業 上水道事業会計繰出金
<b>土木費</b>	4億3,314万円	4.0万円	道路の整備などに関する経費 下水道の管理に関する経費 （主な事業） 町道改良事業（福原橋原線、根雨原大坂線、溝口中線など） 道路除雪事業（車両維持費含む） 町道管理事業 道路老朽化対策事業 下水道事業会計繰出金
<b>商工費</b>	1億1,408万円	1.0万円	商業、観光の振興に関する経費 （主な事業） 索道事業特別会計繰出金 観光地魅力づくり事業 （町道丸線等照明設置工事、樹水高原駐車場トイレ新設工事など） 大山麓リゾート観光・田舎ものマッチング事業
<b>農林水産費</b>	7億1,578万円	6.5万円	農業振興に関する経費 農地保全などに関する経費 林業振興に関する経費 （主な事業） 農業機械等整備補助（みんなでやらいや農業支援事業など） 畜産事業費 有害鳥獣駆除事業 中山間地域等直接支払交付金事業 松くい虫防除事業 地籍調査事業



(単位：万円)

会計名	歳入	歳出	差引
伯耆町町営公園墓地事業特別会計	747	55	692
伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計	9	2,377	△ 2,368
伯耆町地域交通特別会計	13,002	13,002	0
伯耆町国民健康保険特別会計	147,318	143,115	4,203
伯耆町後期高齢者医療特別会計	13,412	13,366	46
伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計	995	995	0
伯耆町農業集落排水事業特別会計	25,418	25,418	0
伯耆町小規模集合排水事業特別会計	5,504	5,504	0
伯耆町公共下水道事業特別会計	35,387	35,387	0
伯耆町浄化槽整備事業特別会計	2,063	2,063	0
伯耆町索道事業特別会計	2,282	3,389	△ 1,107
合計	246,137	244,671	1,466

(単位：万円)

伯耆町水道事業会計(企業会計)	決算額
収益的収入	24,538
収益的支出	28,474
資本的収入	37,037
資本的支出	41,782

(単位：%)

比率区分	説明	伯耆町の比率		早期健全化基準	財政再生基準
		30年度	29年度		
実質赤字比率	一般会計等の実質赤字額の、標準財政規模(人口、面積等から算定する当該団体の標準的な一般財源の規模)に対する比率	-	-	15.0	20.0
連結実質赤字比率	町全体での実質赤字額(または資金不足額)の、標準財政規模に対する比率	-	-	20.0	30.0
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率(18%を超えると借金をするために許可が必要となる)【過去3か年平均】	8.4	8.0	25.0	35.0
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	-	-	350.0	

・「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」の比率欄「-」は、それぞれ実質赤字が生じていないことを表しています。  
 ・「将来負担比率」の比率欄「-」は、現在の預金などで地方債(借金)をはじめとする将来的な負担をカバーできることを表しています。

【問い合わせ先】 総務課 ☎0859-68-3111

### 特別会計

特別会計は、町が特定の事業を行う場合に一般会計とは区分して経理するために設けている会計です。保険料や料金収入などによる独立採算を原則としますが、会計によっては一定のルール等に基づいて一般会計が繰出(負担)を行っています。

平成30年度における特別会計の主な事業は次のとおりです。

- 伯耆町地域交通特別会計…老朽化したバスの更新やデマンドバスの増便、特殊運行対応の増加を行いました。
- 伯耆町農業集落排水事業特別会計…企業誘致に伴う下水道管路整備に係る測量設計を行いました。
- 伯耆町公共下水道事業特別会計…長寿命化計画に基づいて大段浄化センター及び溝口浄化センターの機械設備の更新などを行いました。

### 健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく、平成30年度決算に係る健全化判断比率の算定結果をお知らせします。

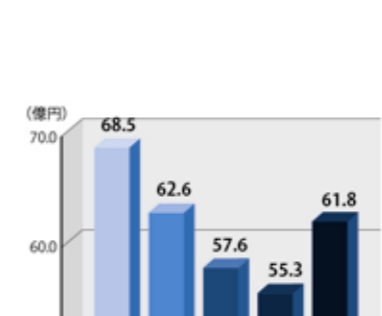
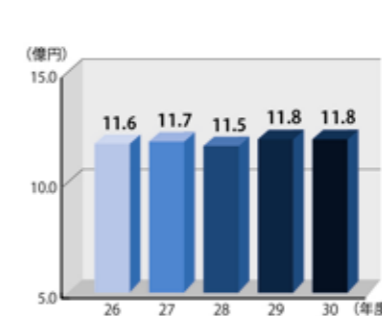
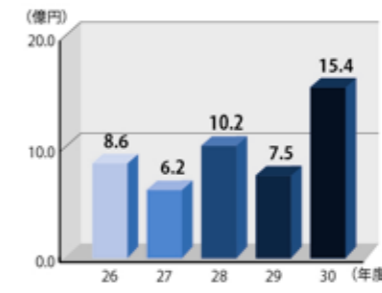
各比率は地方公共団体の財政の健全性を表しており、伯耆町はいずれの比率も健全段階に位置しています。

<p><b>消防費</b> 3億1,900万円(1人当り2.9万円)</p> <p>消防団活動、防災対策などに関する経費 3億1,900万円</p> <p>〈主な事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防・防災拠点施設整備事業 4,985万円</li> <li>消防施設整備事業(耐震性貯水槽設置工事など) 2,059万円</li> <li>消防団運営事業 1,904万円</li> <li>消防・防災対策事業 1,250万円</li> <li>災害対策給水車購入事業 942万円</li> <li>全国瞬時警報システム更新事業 198万円</li> <li>伯耆町震災に強いまちづくり促進事業 107万円</li> </ul>	<p><b>教育費</b> 6億8,332万円(1人当り6.2万円)</p> <p>学校教育に関する経費 2億2,877万円</p> <p>社会教育に関する経費 1億7,575万円</p> <p>学校給食、スポーツ振興に関する経費 2億7,880万円</p> <p>〈主な事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少人数学級実施事業(小学校・中学校) 2,500万円</li> <li>特別支援教育支援員配置事業 2,012万円</li> <li>ブロッコリー撤去取替事業 643万円</li> <li>文化財整理・保存施設管理事業(鬼のミュージアム改修工事など) 629万円</li> <li>給食センター改修事業 1億4,638万円</li> <li>学校給食費補助(小学校・中学校) 1,414万円</li> <li>生涯スポーツ振興事業 147万円</li> </ul>	<p><b>災害復旧費</b> 2,913万円(1人当り0.3万円)</p> <p>災害によって生じた被害の復旧に要する経費 2,913万円</p> <p>〈主な事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路橋梁災害復旧事業 1,385万円</li> <li>農地災害復旧事業(補助・単独) 568万円</li> <li>農業用施設災害復旧事業(補助・単独) 538万円</li> <li>林業用施設災害復旧事業(補助・単独) 422万円</li> </ul> <p>借入金返済に要した経費 10億7,096万円(1人当り9.8万円)</p> <p>〈主な事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常の返済額 10億2,085万円</li> <li>繰上返済額 2,816万円</li> </ul>
--	---	--

### 基金(貯金) 残高の推移

将来の財政負担に備えて財政調整基金の積み立てを行ったほか、全国から寄せられたふるさと納税を原資として伯耆町豊かなふるさと創造基金への積み立てを行いました。

また、地方交付税が減少傾向にあるなどの厳しい財政状況下にお



### 普通建設事業費の推移

普通建設事業費は、前年度比約7億9,000万円の増加となりました。

有線テレビFTTH整備や役場本庁舎大規模改修、溝口保育所長寿命化、ふたば保育所増設改築、こしき保育所園庭拡張、給食センター改修などの改修や改築に係る工事を実施したほか、役場分庁舎等改修事業に係る実施設計、町道改良や耐震性貯水槽(防火水槽)の設置、消防団車庫の移転なども実施しました。

### 人件費の推移

人件費は、前年度比約56.1万円の増加となりました。

前年度末退職者が多数だったため職員給与は減少したものの、前年度末退職者に係る職員退職手当組合特別負担金が増加したことにより人件費が増加しました。

### 地方債(借金) 残高の推移

「借入額が返済額を上回らないこと」を前提に借入金の管理をしていますが、平成30年度は普通建設事業が増加したため、その主な財源となる地方債(借金)が増加しました。

ただし、その償還額に対して地方交付税が措置される財政的に有利な地方債を利用しましたので、町財政への影響は最小限に抑えることができました。

【借金】町民1人あたり56.5万円(前年度比+6.4万円)